

課題と対策

■全体

今年度も『学童に通っていてよかった』の声が多く、『楽しいこと』、『楽しいあそび』もたくさん挙げられていて、多くの子どもたちにとって学童が『楽しい』場所になっていることを嬉しく思います。意見や要望についても『こうなるといいな』という期待を持った前向きな意見が多く、自分たちの生活の場としてより良くしていきたいという子どもたちの思いを感じました。集団生活の中ではお友だちと気持ちがすれ違ったり、時には思い通りにいかないこともあると思いますが、どの子どもも自分らしく安心して過ごせるよう、職員も子どもたちの思いにしっかり向き合い一緒に考えていけたらと思っています。

■おやつについて

毎日のおやつは、本部からの『おやつカレンダー』がベースとなっており、『ぷらす』の部分や誕生会等の行事の日のおやつを学童で決定しています。

昨年度の子どもアンケートを受けて、今年度は誕生会のおやつをその月の誕生日の子のリクエストおやつにしました。一日育成時には何度か職員による手作りおやつも行い、好評でした。

おやつメニューや量については食べる量の個人差や好き嫌いもあるため、どちらかに合わせるのが難しいところではありますが、おかわりをしたり選べるおやつの種類を増やす等、できるだけ子どもたちの希望に添う形で考えていけたらと思います。

また、『記念日は記念日に合ったおやつを食べたい』ことについても、学童でも可能な限りそうできるようにしていますが、おやつカレンダーのメニューによってはその日にちなんだおやつにできないこともあったので、今後は本部とも連携をとっていけたらと思います。

■まんが・遊具について

昨年度の子どもアンケートを受けて、まんがの続きやゲーム等を購入し、今年度はまんが・ゲームが充実しました。今回もまんが・おもちゃ等の要望が多数出ていますが、昨年同様 場所の問題、片付けの課題等もあるので、状況に応じてまた検討していきたいと思います。

ぶらんこ・バスケットゴール等の設置はなかなか難しいとは思いますが、中清戸学童は園庭でも校庭でもあそべる環境にあるので、校庭で遊具等を使ってあそべる時間もしっかり確保していけたらと思います。

■その他

今回は『花をうえてほしい』『ミニトマトを育ててほしい』等、栽培に関する声がありました。中清戸学童には柿やみかんの木があり、秋には収穫して美味しく食べることができます。園庭には花が咲き、その花を愛でながら、季節を感じながらあそぶことができます。自然や植物に触れる環境があることでこのような声が挙がってきたのかなと思います。この環境を生かし、来年度は花や野菜等の栽培についても子どもたちと検討していけたらと思います。

今後子どもたち一人ひとりにとって自分の居場所と思える学童になるよう、子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちの思いに寄り添い、一緒に考えていけたらと思います。